

## ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～



※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん、お母さん、妊婦さん、おじいさん、おばあさんどなたでも利用できる場所です。気軽にお出かけください。

- ◇通信ピッコロを中旬に発行しています。  
図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。
- ◇ホームページ  
揖斐川町 <https://www.town.ibigawa.lg.jp>  
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp>

### 揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 TEL 23-1136  
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日  
9:00～16:00

- ◎町内の幼稚園 なかよしタイム  
毎月第2水曜日  
時間：10:00～11:00（園庭開放）  
※雨天の場合は中止とさせていただきます。
- ◎揖斐幼稚園の開放日  
9月18日(水)  
直接幼稚園へお申込みください。  
TEL22-6008（当日可）

### 9月の活動予定

行事の申込みは、前月第3水曜日より実施日前日まで受付けています。（電話予約不可）

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 出前保育 (たにぐみ幼稚園)	5 歯科教室	6	7
8	9 発育測定	10	11 出前保育 (胥永公民館)	12 年齢別交流 (りんご・いちごグループ)	13 おさんぽ会 (藤橋道の駅)	14
15	16 敬老の日	17 年齢別交流 (さくらんぼ・ひよこグループ)	18 出前保育 (おじま幼稚園)	19 リフレッシュ体操	20	21 開館日
22 秋分の日	23 振替休日	24 ハローワーク大垣 ～マザーズコーナー 巡回相談～	25 お話ルーム 誕生会 教えてドクター	26 ベビーマッサージ	27 ヨガ教室	28
29	30					

#### 「9月の年齢別交流」

同じ年に生まれたお子さんと親さんの交流の時間です

- 🍎りんごグループ…… 「うんどう遊びを楽しもう！」  
(2021.4.2～2022.4.1)
- 🍓いちごグループ…… 「うんどう遊びを楽しもう！」  
(2022.4.2～2023.4.1)
- 🍌さくらんぼグループ 「ふれあい遊び」  
(2023.4.2～2024.4.1)
- 🍑ひよこグループ …… 「ふれあい遊び」  
(2024.4.2～現在)

子育て支援センターは、子ども（0～18歳未満）に関するあらゆる相談窓口です。一人で悩まないで気軽にご相談ください。

- ◎育児相談は毎日、子育て支援センターで直接受け付けています。
- ◎行事など変更、中止になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

有  
料  
広  
告  
欄

## 揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。 ～子育て支援センターの紹介～

子育て中のパパ・ママの健康促進とリフレッシュを目的とした“フィットネスタイム”と“ヨガ教室”をおこないました。

フィットネスタイムでは、揖斐川健康広場アリーナにて、ジムでトレーニングをしたり、フィットネス講座を利用したりと、参加された方は気持ちのいい汗をかいていました。ヨガ教室では、ゆったりと全身を動かして心と体をリフレッシュすることができました。どちらの講座も、ボランティアさんによる託児をおこなっています。体を動かしたい方、リフレッシュしたい方、一緒に楽しみませんか？お待ちしております。



フィットネスタイム



ヨガ教室



ボランティアさんと遊んだよ！



## 🎵 子育てちゃんねる

## ～小さな成功体験を積み重ね、 ほめられることで育つ自己肯定感～

当たり前に行っている行動をほめることでその行動が増える。するとほめられるチャンスが増える。そうして、子ども自身の成功体験が増え、他者に認められることで自己肯定感が育ちます。

さて、「ほめる」ということを改めて考えてみましょう。「ほめる」＝「すごいね」「えらいね」など、できたことを評価する（成果をたたえる）だけではありません。大切なのは、ポジティブな注目、温かい眼差しを子どもに向ける営みです。例えば、子どもが座っているとき、その行動に注目し「座れているね」とポジティブに捉える言葉がけは子どもに「あなたが座っていることをちゃんと見ていたよ。知っているよ」と伝えることになります。

例えば、朝の忙しい時にありがちな親子のやりとりでは、「早く着替えてね」とついつい言ってしまうがちですが、見方を変えて「頑張ってるね」「靴下片方ははけたね」など取り組んでいることやいつも何気なくできていることをあえて言語化して伝え、お子さんの自己肯定感を高めることを意識できるといいですね。

児童発達支援事業所いびがわアップル TEL(0585) 23-1139

## 「わがわが園キッズ」

### あそびのたのしみな～

### ～おじま幼稚園～

おじま幼稚園では「主体性」を育むために、戸外遊びを充実させています。まずは、子ども達にいろいろな遊びを知らせようとして、保育士が環境を整え遊び込んでもらいました。そんな子ども達も遊びの中で必要な道具が手元にあたり、常に保育士が遊び方を知らせている状態に、「これで子ども達の主体性が育まれるのか？」と職員で話し合い、なるべく子ども達が自ら遊びの準備をしたり、必要な物が欲しい時にどうしたら良いかを考える力が育つように、全部を整えず見守ることにしました。

砂場にはいつも準備してあった水がない。さあどうするか職員で見守りました。初めは「水がない」と訴えに来る子ども達が多く、保育士に頼ろうとしていました。しばらくすると次第に子ども達が自ら考えてタライを運び、ホースを伸ばして水を入れ始めたり、バケツに直接水を入れに行く子どもも出てきました。ホースが巻いてある先端が外れてしまった時には、「ホースが取れた！」と友達に知らせ、知恵を出し合い、長いホースをリールから引き出して子ども達だけで先端に付け直す姿が見られるなど、日に日に積極的に遊びの準備を始めたり、考えて遊んだり、困った時には友達と協力しながら解決していく姿に変化を感じました。また、生き物が大好きな子ども達は、見つけた幼虫を観察ケースに入れ飼育しています。さつまいもの畑で見つけた小さく白い体の幼虫が、あつという間に黒い幼虫になりびっくりする子ども達。名前を図鑑で調べる子や虫眼鏡で拡大して見たりと、興味津々です。本当は「蛾」の幼虫なのですが、本当の姿をまだ知らない子ども達は「蝶」になるんだと図鑑を見ながら予想し、わくわくを友達と共有しています。子ども達の反応を楽しみながら保育士も一緒に観察を続けていこうと思っています。

これからも、わくわく・ドキドキの環境の中、仲間と調べたり、試したり、考えたりして共同的に取り組む主体的な遊びをたくさんしながら園生活を送れることを願っています。

